

「瑞穂小だより」

令和5年 7月 6日
令和5年度 第9号 電子
伊丹市立瑞穂小学校 校長室

＜学校教育目標＞『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
—あしたも来たいと思える学校—

心豊かにたくましく 輝く生命を大切に 平和を創る人へ ～ 修学旅行で学んだこと ～



6年生は6月28日～29日、広島・宮島方面へ修学旅行に行ってきました。今年の6年生は、コロナの影響で5年生の自然学校の宿泊は2泊3日に短縮され、修学旅行はどうなるのか心配でした。皆様のご支援のお陰で、小学校生活最後の宿泊行事は、6年生全員が参加して全行程を無事終えることができました。ありがとうございました。

「なぜ広島に行ったのか」それは「人間にとって一番大切な生命と平和を学ぶため」です。

子どもたちは、実行委員会を組んで、「メリハリつけて思い出つくり『平和』めざして修学旅行」とのスローガンを決めて、主体的に準備をしてきました。

広島平和公園では、天候も考えながら臨機応変に活動しました。

まず、「平和資料館」を見学しました。

インターネット等で見ていた子もいましたが、実際にリアルで見学すると新しい気付きもあったようです。「貞子さんの鶴」や、ウクライナの大統領が言及した「人影の石」では、足を止めてとても熱心に見学していました。

また、友達と話し合う姿も多く見られました。日頃から磨いてきた学び合う力が生かされていました。



「原爆の子の像」の前で、「平和を誓うセレモニー」を行いました。全校生で平和への願いを込めて折った千羽鶴「平和」を捧げました。

「黙祷」をして、平和な社会を作ることを誓い合いました。

代表の児童が「誓いの言葉」を述べ、最後に「青い空は」のリコーダー演奏と歌声が平和公園に広がっていました。

近くで見られていた外国からの方が拍手を送ってくださいました。

そして、証言者の迫田勲さんから「広島から世界平和を」をテーマに貴重な講話を伺いました。

原爆投下の日、迫田さんは7歳。爆心地から約20kmの場所でピカドンを感じました。直後に黒い雨にうたれました。その雨には身体に良くないものが含まれていて、今でも体の中に入っていると教えてくださいました。大切な方が亡くなる等の辛い中を生き抜き、今も平和運動をされています。

最後に「平和は当たり前ではない。この心を伝えてほしい。未来を作るのはみなさんです。」とのメッセージを託してくださいました。

熱心にメモしている子が多くいました。代表児童のお礼の挨拶では、「今日のことを（平和学習報告会などで）いろいろな人に伝えていきたいと思いました」と感謝と誓いの心をお伝えしました。

その後、班活動で「碑巡り」を行いました。友達と行きたい場所を事前に相談しており、協力して回っていました。



私が初めて修学旅行の引率をしたのは約30年前。それから資料館等が建て替えられました。一方で、私には広島に来る度に変わることなく学び続ける心があります。

『戦争ほど、残酷なものはない、悲惨なものはないこと』

平和資料館や証言者の方のお話から、一発の原爆で、広島の街が火の海になってしまい、多くの生命が一瞬でなくなってしまったことを学ぶとともに、無念だったと感じました。また、放射能の影響が後々にでて、今でも苦しんでいる方もおられることなどを学び直し、原爆の恐ろしさを実感しました。

『平和ほど、尊いものはない、幸福なものはないこと』

「原爆の子の像」の前では、たくさんの学校がセレモニーをしていました。

今年のサミットは広島で開催されました。世界の国々からのリーダーも平和公園を訪れ、資料館などを視察されました。

修学旅行中にも世界中から来られた方にお会いしました。戦争について学び、平和になるためにどうしたら良いかを真剣に考えておられました。

「平和を願う心に国境はない」と思いました。



2日目は宮島です。
バスで宮島口まで向かい、そこからフェリーで宮島に到着しました。
厳島神社を歴史の重みを感じながら見学しました。大鳥居は潮がひいていた中でそびえ立っていました。



「買い物タイム」では、家族の方などの顔を思い浮かべながら、しっかり計算して、お土産をガッチリ買っていました。



お昼ご飯は「広島のお好み焼き」。
「ひろしまお好み焼き物語駅前ひろば」で、グループごとにお店に入り、目の前で1枚1枚焼いてくださいました。

焼きたてなので美味しさが一層増して、ペロリと平らげてしまいました。



そして、子どもたちは、貴重な思い出を胸に刻んで、瑞穂小学校に帰ってきました。



今回の修学旅行は雨が突然降るなど大変難しい天候でしたが、6年生は先生の話をしっかり聞き、機敏に行動できるので、すべての計画を進めることができました。また、友達等と楽しく過ごす時を大切にすると共に、集合の仕方や電車内等のマナーを守って取り組む姿勢がどんどん良くなってきました。

広島で「平和について学んだ2日間」は、瑞穂小の最高学年として立派な行動でした。みんなで協力して成長する姿に、本校のリーダーとして頼もしく感じました。スローガンを達成し「メリハリつけて思い出づくり」が大成功。そして修学旅行から「平和めざして」新たな出発をすることもできました。今後も、輝く生命を大切に平和を創る人としての活躍を期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、子どもたちの健康管理や荷物準備等でご支援・ご協力いただき、心から感謝しています。また、お見送りとお出迎えには、たくさんの方に来ていただきました。誠にありがとうございました。